FUKUSHIMA KODOMO NO MIRAI FILM FESTIVAL

宮沢賢治 短編映画 上映作品

雪渡り

雪の降り積もった日、四郎とかん子は野原に遊びにゆき、森で狐をからかう歌を歌っていると本当に狐がやってくる。狐の紺三郎が二人に黍団子をすすめるが、かん子が、ついキツネの団子は兎のくそと失言する。それを聞いた紺三郎は気を悪くし、紺三郎は嘘つきは人間の大人のほうであると主張し、それを説明するための幻燈会に二人を招待する。四郎は兄も連れてこようとするが、年齢制限にかかってしまうと断われてしまう。

月の凍った夜、二人は紺三郎との約束を思い出し、出かけようとすると、兄たちに知られてしまう。事情を説明すると、別にとめられることもなく、お土産に鏡餅を持ってゆけとアドバイスを受ける。

二人が森の奥に進んでゆくと、そこは狐の小学校で、沢山の子狐達の中で約束通り紺三郎が待っていた。紺三郎は二人に挨拶をすると、間もなく幻燈会がはじまり、紺三郎が開会の辞を述べる。四郎は紺三郎のリーダーシップに関心してしまう。やがてスクリーンに「お酒のむべからず」と映し出され、太右衛門と清作が酔って野原で変な物を食べている二枚の証拠写真が映し出される。それから幻燈会が中休みになり、可愛らしい狐の女の子が黍団子を二人の前に持ってきた。二人は気味悪い狐の団子を食べるのをためらい、再び気まずい雰囲気となる。しかし、四郎は紺三郎がだますはずがないと結論し、二人は団子を平らげる。団子はおいしく、狐たちは信用してもらえた事に感激し、狐の生徒はどんな時でも嘘はつかず、盗まず、そねまないという歌を歌って喜んだ。

やがて幻燈会の後半がはじまり、「わなを軽蔑すべからず」「火を軽蔑すべからず」という２枚の狐の絵が映されて、幻燈会が終了する。紺三郎は四郎とかん子に信じてもらえた事にふれ、狐達は誠実さによって今までの悪い評判を消しさるだろうという閉会の辞を述べて解散となる。兄たちが迎えに来てくれて物語が終わる。

注文の多い料理店

イギリス風の身なりで猟銃を構えた２人の青年紳士が山奥に狩猟にやってきたが、獲物を一つも得られないでいた。やがて山の空気はおどろおどろしさを増し、山の案内人が途中で姿を消し、連れていた猟犬が２匹とも恐ろしさに泡を吹いて死んでしまっても、彼らは「２千４百円の損害だ」、「２千８百円の損害だ」と、表向き金銭的な損失だけを気にする。しかし、山の異様な雰囲気には気付いたらしく、宿へ戻ろうとするが、山には一層強い風が吹き、木々がざわめいて、帰り道を見つけることができない。途方に暮れたとき、青年たちは西洋風の一軒家を発見する。そこには「西洋料理店 山猫軒」と記されており、２人は安堵して店内へと入っていく。 入ってみると、「当軒は注文の多い料理店ですからどうかそこはごしょうちください。」という注意書きがあるのに気付く。これを２人は「はやっている料理店で、注文が多いために支度が手間取る」という風に解釈して扉を開けると、そこには「髪をとかして、履き物の泥を落とすこと」という旨の注意書きがあるだけだった。以後、扉を開けるごとに２人の前には注意書きが現れる。中には「金属製のものを全て外すこと」といった少し首をかしげる注意書きもあったが、「料理の中に電気を使用するものがあって危ないからだ」というように、２人はことごとく好意的に解釈して注意書きに従い、次々と扉を開けていく。

猫の事務所

軽便鉄道の停車場のちかくにある猫の第六事務所は猫のための歴史と地理の案内所。そこには大きな黒猫の事務長、一番書記の白猫、二番書記の虎猫、三番書記の三毛猫、そして、四番書記のかま猫（釜猫、竈猫の表記をとる本もある）がいた。かま猫は三人の書記にいじめられながらも、黒猫の支えやかま猫仲間の応援もあり、仕事に励み続ける。しかし、かま猫が風邪をひいて事務所を休んだ日、三人の書記の讒言により、黒猫までもがかま猫を憎むようになり、かま猫は仕事を取上げられてしまった。その様子を見た獅子は事務所の解散を命じる。語り手の「ぼくは半分獅子に同感です。」という言葉で物語は閉じられる。

「福島こどものみらい映画祭」支援金募集!!

振込先

銀行名：東邦銀行
支店名：本店営業部
口　座：普通　3622209
名義名：福島こどものみらい映画祭実行委員会

現在、福島こどものみらい映画祭では、皆様に支援金のご協力をお願いしております。

ご協力いただいた支援金は「福島こどものみらい映画祭」を中心とする活動への支援金として利用させていただきます。

皆様のご協力を厚くお願い申し上げます。

福島こどものみらい映画祭

これまで私たちは、未来を描き、創り、そして「こども」たちへ、その形と想いをつないできました。

いま、「こども」を取り上げた映画はたくさんあります。

その背景は「家族」だったり、「仲間」だったり、「平和」だったり、「環境」だったりと様々です。

未来を担う「こども」というファインダーを通して、「こども」も大人も社会を見つめ直し、次代に受け継いでいける価値ある社会を創りたいという想いから、この映画祭は誕生しました。

福島こどものみらい映画祭　検索

http://www.mirai-cinema.jp

第6回 福島 こどものみらい 映画祭

入場無料
来場者にはお菓子セットプレゼント!!!

こどもたちの感性豊かな作品を是非ご覧ください。

開催!!

スケジュール　2014.10.11 sat | AM 10:00〜 PM 4:00

10：00	開会式　実行委員長挨拶
10：15	こども映画学校　舞台挨拶/作品上映
11：00	宮沢賢治ショートムービー　雪渡り（23分）
11：30	注文の多い料理店（23分）
12：00	昼食
13：00	こども映画教室　舞台挨拶/作品上映
14：30	ふくしま映画塾　舞台挨拶/作品上映
15：15	宮沢賢治ショートムービー　猫の事務所（22分）
15：45	ジバニャンと記念撮影（抽選で20名様）

※上映時間が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

© LEVEL-5 ／映画「妖怪ウォッチ」プロジェクト 2014

■主催：福島こどものみらい映画祭
■後援：福島県　福島民報社　福島テレビ　福島大学　シーアイエー㈱
■協力：野村ホールディングス株式会社 NOMURA ／株式会社日本旅行 日本旅行 ／一般社団法人エル・システマジャパン FRIENDS OF EL SISTEMA JAPAN ／こども映画教室

ふくしまからはじめよう。
Future From Fukushima.

ふくしま復興プロジェクト

福島こどものみらい映画祭

私たち福島こどものみらい映画祭実行委員会は、
映画を通して元気のみなもと・心のよりどころを創出し、復興への活力を
提供していきたいと考え、震災復興プロジェクトを実施しています。
各種事業や人材との連携を通して、地域に貢献し、文化振興と
経済活性化に寄与することを目的としています。

テーマ　〝ふくしまのチカラ、映画のチカラ〟

福島こどものみらい映画祭実行委員会 実行委員長 **久 我 和 巳**

ふくしまの地から、映画の知から、ふくしまのチカラを、映画のチカラを再発見しよう。第６回福島こどものみらい映画祭を、そんな思いを共有してくださった皆さんとともにお届けします。

「福島こどものみらい映画祭」は、かつて「こども」だった大人がこどもたちの視線に寄り添い、ともに、あるべき「みらい」、次の世代に残したいと願う「みらい」のあり方を考えていくための映画祭として出発しました。映画を通して、映画を楽しみ、学びながら、未来への希望、明日への期待を伝えていきたいと思います。この間、東日本大震災を挟んで、開催が危ぶまれたこともありましたが、本当に多くの皆さまの励ましに支えられて、６回目の開催の日を迎えることができました。

福島こどものみらい映画祭は、豊かな映像文化を地域に根付かせようという思いから、県民の皆さんの参加を求め、プロの映画人の指導のもと、脚本、撮影、編集、上映まで３日で映画を作るという「ふくしま映画塾」を開催してきました。一昨年からは、県内の小学生とともに映画作りを体験しています。

第６回福島こどものみらい映画祭は、今年、制作した作品を中心に上映をいたします。

まずは、いわき私立豊間小学校の５年生が作った作品を２本。こどもたちが考えた脚本をもとに、同一の脚本で２チームに分かれて撮影、編集を行いました。同じ脚本でも、取り方や編集の組み合わせ方によって、作品はどう違ってくるのだろうかという学習でもあると同時に、こどもたちが生まれ育った地域に向けた思いがひしひしと伝わってくる作品です。

続いては、相馬地域のこどもたちと一緒に作ったドキュメンタリー作品を４本。２日間にわたって、相馬こどもオーケストラの練習風景にカメラを向けました。バイオリン、コントラバス、さまざまな楽器とそのアンサンブルに情熱を傾けるこどもたちの姿を、同世代のこどもたちのカメラはどのように捉えたでしょうか。

さらに、県内の各大学の連携を図るアカデミア・コンソーシアム・フクシマ（ACF）との共催によって開催された「ふくしま映画塾」から、複数の大学の学生たちの共同製作作品を２本。現在の福島に生きる大学生たちの日常、経験、感情が描き込まれました。若者たちの息吹、ささやき、つぶやきの表現に、ぜひお立ち会いください。

映画祭では、宮沢賢治原作によるアニメ短編を上映します。「雪渡り」、「注文の多い料理店」、「猫の事務所」の３本です。詩情豊かにして、メッセージの込められた賢治の物語世界がスクリーンでどのように表現されるのか、どうぞお楽しみに。

復興の願いを、映画という夢に託して、第６回福島こどものみらい映画祭を開催します。上映作品を楽しんでいただくとともに、ぜひ次の機会には、あなたが映画の作り手として参加してくださることを願っています。

こども映画教室@相馬2014 supported by 福島こどものみらい映画祭

開催日　7/13（日）・7/20（日）

会場　7/13 相馬市LVMH子どもアート・メゾン
7/20 相馬市総合福祉センターはまなす館

「福島こどものみらい映画祭」としては、初めてとなる、ドキュメンタリー映画製作を体験するこども映画教室を開催することとなりました。

この映画教室を通して、被写体となる相馬子どもオーケストラのこどもたち、撮影・編集する相馬のこどもたちが、自分のこと、お友達のことをあらためて見つめあい、たくさんの発見をしてくれることを期待しています。

こども映画教室のカリキュラム

7/13（日）
AM…各自自己紹介
PM…チーム分け、レクチャー、
相馬子どもオーケストラ練習風景撮影

7/20（日）
AM…「相馬子どもオーケストラ
with ダニエル・マツカワ」開催　練習風景撮影
PM…相馬子どもオーケストラ経験者クラス　撮影
編集作業など

こども映画教室の講師たち

■監修・プロデューサー　**土肥悦子**さん
映画館「シネモンド」代表、「こども映画教室」代表
■講師・映画監督　**中井聖満**さん
1979年大阪府生まれ。大学卒業後、番組制作会社ドキュメンタリージャパンにて「アジアンスマイル（NHK）「森人（BS日テレ）」など、主にTVドキュメンタリー番組を演出。2013年の金沢、横浜において「こども映画教室」に参加。

相馬子どもオーケストラって、知ってる？

音楽の力を通して生きる力を育む南米ベネズエラで39年前に生まれたエル・システマ。東日本大震災後、このエル・システマ式音楽教育プログラムで、被災したこどもたちを支援したい思いのもとに、エル・システマジャパンが2012年３月23日に設立され、同年５月７日に相馬市と協力協定書を結び、支援活動が始まりました。2013年12月には、相馬子どもオーケストラ＆コーラスとしてのデビューコンサートが行われ、現在、相馬市内の4〜17歳、約90名のこどもたちが参加し、楽器を友だちと一緒に奏でる楽しさを学んでいます。
http://elsistemajapan.org/SOMA/soma_project.html

こども映画教室って、知ってる？

2004年に金沢ではじまった「こども映画教室」での10年の経験を活かし、2013年に任意団体「こども映画教室」が誕生。こどもたちの自主性を尊重し、プロの映画人を招いた映画ワークショップ、学校などへのワークショップのコーディネートや、シンポジウムの開催を行っています。「こどもと映画のアカルイミライ」を目指すことがミッション。
http://www.kodomoeiga.com/

福島こども映画学校 いわき・わくわく「しごと塾」「生きるちからを育む」

開催日　6/16（月）▸17（火）・6/30（月）▸7/2（水）

会場　福島県いわき市立豊間小学校

これまで、豊間小学校では総合的な学習の時間に地元や地域のことを勉強してきました。

今回はそれをふまえ、かつ、学んで身に付けた言葉の力などを最大限に駆使し豊間小学校の５年生たちが豊間の地域や伝統を基にしながら映画作品づくりに取り組みました。

映画づくりは協同作業です。友だち同士や親子で語り合いながら、議論しあいながら、一つ一つ手作りで、形として残していく積み重ねでもあります。

みなさんの目に映った豊間が物語としてスクリーンに映し出される時、それは他地域へ向けた発信であると同時に、未来の自分たちへのエールになると私たちは考えています。

こども映画学校のカリキュラム

1日目……テーマ決め・脚本作り
2日目……演技・映画制作に関して
3日目……ロケハン・打ち合わせ
4日目……撮影
5日目……編集、上映会

こども映画学校の講師たち

●校長先生　**前田茂司**　楽映舎 代表取締役
福島こどものみらい映画祭 映画塾 塾長
●1組・2組 担任　**萩庭貞明**　映画監督
「ナニワ銭道」、「ミナミの帝王」シリーズ、
「遊びの時間は終わらない」（いわき市内ロケ）など
●1組副担任　**寿大 聡**　俳優　舞台を中心にテレビや映画など多彩な場面で活躍中。
「十三人の刺客」「天地明察」「地球兄弟」「藁の楯」他
●2組副担任　**西村 真**　俳優　「爆裂都市」「新・影の軍団 第５章」
「猿飛佐助Ⅱ 闇の軍団」「親父」
「麻雀飛翔伝 哭きの竜 外伝」他
●音楽の先生　**野島健太郎**　シーナ＆ロケッツ、ARBなどに
サポートメンバーとして参加。
数々の映画音楽を手がける。
●撮影・編集の先生　**津村隆男**　放送芸術学院専門学校
児島康太　放送芸術学院専門学校
辻下祥子　放送芸術学院専門学校
山中元気　放送芸術学院専門学校
●録音の先生　**三澤武徳**　**大井 徹**
●事務の先生　**金間登志江**　シーアイエー株式会社
福島こどものみらい映画祭事務局長
酒井元舟　楽映舎企画・製作
原田くるみ　シーアイエー株式会社
鈴木結衣　福島大学
●用務員のお兄ちゃん　**長島伸明**　シーアイエー株式会社
●用務員のおっちゃん　**久我和巳**　福島大学 言語文化論 教授
福島こどものみらい映画祭実行委員長

アカデミア・コンソーシアムふくしま 福島こどものみらい映画祭2014 ふくしま映画塾

開催日　9/13（土）・14（日）・15（月）

会場　二本松市男女共生センター

第一線で活躍する映画人とともに、３日で映画を創るふくしま映画塾。今回は二本松市を舞台として、プロの映画人の経験、技術に、若き福島県内の大学生の感性が挑みます。企画立案、脚本作り、撮影、編集、上映といった映画製作の一連の流れを経験することは、今後、あらゆる場面で活きる絶好の機会でした。

ふくしま映画塾のカリキュラム

1日目……テーマ決め・オーディション・
演技指導・台本作り
2日目……撮影・編集
3日目……編集・発表

ふくしま映画塾の講師たち

●校長先生　**前田茂司**　楽映舎 代表取締役
福島こどものみらい映画祭 映画塾 塾長
●監督　**横井健司**　映画監督
「ダブルキャスト」「今日からヒットマン」「君へのメロディー」
「ドロップ」、TV「彼岸島」など
●監督　**西海謙一郎**　映画監督
「ガチバンVI野獣降臨」「戦国番長ガチザムライ」「BUNGO」
TV「ケータイ捜査官7」「彼岸島」など
●撮影　**古長真也**　撮影
TV「東京スカーレット」助手として「闇金ウシジマくん」
「R100」「探偵はBARにいる2」「中学生円山」など
●撮影　**寺嶋里紗**　撮影助手
「神様の言うとおり」「青鬼」「死んだ目をした少年」
「土竜の唄」「悪夢ちゃん」「喰女」など
●録音　**三澤武徳**　録音技師
●録音　**大井 徹**　録音技師
●音楽　**野島健太郎**　映画音楽
シーナ＆ロケッツ、ARBなどに
サポートメンバーとして参加。数々の映画音楽を手掛ける
●制作　**小松俊喜**　楽映舎　企画プロデューサー
●事務　**金間登志江**　CIA株式会社　福島こどものみらい映画祭事務局長
酒井元舟　楽映舎　企画・製作　**天野和彦**　福島大学
長島伸明　CIA株式会社　記録映像　**原田くるみ**　CIA株式会社
半澤美樹子　ふくしま映画塾OB　**安宿裕人**　ふくしま映画塾OB
高田優美　フリーアナウンサー
久我和巳　福島大学 言語文化論 教授
福島こどものみらい映画祭実行委員長

FUKUSHIMA KODOMO MIRAI FILM FESTIVAL